2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202301

科目名	建築製図			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	眞野 サトル・大澤 亮介		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士、管理建築士		

授業の目標・ねらい

建築設計及び空間デザインに関する諸学の基本科目として位置づけ、計画・設計・表現のスタディを通じて、各空間・各構造の基礎知識や技術が修得できる。前期はすべての空間の基本となる木構造住空間、後期は鉄筋コンクリート構造公共空間をテーマとする。

教科書・参考書名	建築デザイン製図

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	50%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	20%			○	○	
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	基本　線の引きかた	第1回	トレス3　ギャラリースペース
概要	道具の使い方と直線、点線、直角線、斜線などの描き方を学ぶ	概要	展示空間のインテリア図面を理解する
第2回	基本　文字の描きかた	第2回	トレス3　ギャラリースペース
概要	道具の使い方と文字、記号などの描き方を学ぶ	概要	展示空間の平面図を理解する
第3回	トレス1　木造平屋住宅	第3回	トレス3　ギャラリースペース
概要	配置図、平面図の解説と通り芯、壁と開口部の理解を行なう	概要	展示空間の断面図を理解する
第4回	トレス1　木造平屋住宅	第4回	エスキス2　RC造　小規模美術館の計画
概要	断面図の解説と階高、屋根形状、天井高、開口高の理解を行なう	概要	RC壁構法の小規模美術館について平面エスキスを行なう
第5回	トレス1　木造平屋住宅	第5回	エスキス2　RC造　小規模美術館の計画
概要	立面図の解説と建物高、線の強弱表現を学ぶ	概要	RC壁構法の小規模美術館について平面エスキスを行なう
第6回	応用1	第6回	エスキス2　RC造　小規模美術館の計画
概要	在来木造住宅を見学もしくはビデオ等により学ぶ	概要	RC壁構法の小規模美術館について断面エスキスを行なう
第7回	トレス2　木造二階建住宅	第7回	応用3
概要	通り芯、壁と開口部を復習し、各室の関係や動線を理解する	概要	RC構造の小規模公共建築を見学もしくはビデオ等により学ぶ
第8回	トレス2　木造二階建住宅	第8回	エスキス2　RC造　小規模美術館の計画
概要	住宅の外部空間と、内部階段の表現と理解を行なう	概要	エスキスを統合し、製図準備を行なう
第9回	トレス2　木造二階建住宅	第9回	設計2　RC造　小規模美術館の計画
概要	断面図トレスを通じて階高、天井高、軒高、屋根形状を学ぶ	概要	平面図作図を行なう
第10回	エスキス1　木造二階建住宅（建築計画学と連動）	第10回	設計2　RC造　小規模美術館の計画
概要	他科目での学習を基に木造二階建住宅の平面エスキスを行なう	概要	断面図作図を行なう
第11回	エスキス1　木造二階建住宅（建築計画学と連動）	第11回	設計2　RC造　小規模美術館の計画
概要	他科目での学習を基に木造二階建住宅の断面エスキスを行なう	概要	立面図作図を行なう
第12回	設計1　木造二階建住宅（建築計画学と連動）	第12回	応用4
概要	エスキスを統合して平面図作図を行なう	概要	作成した図面を基に設計内容のプレゼンテーションと講評を行なう
第13回	設計1　木造二階建住宅（建築計画学と連動）	第13回	PC製図　CADによる製図1
概要	エスキスを統合して断面図、立面図作図を行なう	概要	CADによる製図表現を学ぶ
第14回	設計1　木造二階建住宅（建築計画学と連動）	第14回	PC製図　CADによる製図2
概要	各図面の仕上を行ない完成させる	概要	CADによる製図表現を学ぶ
第15回	応用2	第15回	応用5(卒業設計発表会への参加)
概要	作成した図面を基に設計内容のプレゼンテーションと講評を行なう	概要	卒業設計発表会に参加しプレゼンテーション手法を学ぶ

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202201

科目名	建築設計製図			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	6単位	担当教員	鍵谷 啓太・阪本 剛史		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築設計及び空間デザインに関する諸学の基本科目として位置づけ、前年次各科目で修得した知識や技術をもとにした計画・設計・表現のスタディを通じて、各空間・各構造の応用知識や技術を蓄積し、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を修得できる。

教科書・参考書名	建築デザイン製図

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	50%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	20%			○	○	
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	共同住宅課題説明	第1回	高齢者施設を併設した集合住宅課題説明
概要	エスキース（配置、平面）	概要	エスキース（配置、平面）
第2回	エスキース	第2回	エスキース
概要	エスキース評価・検索	概要	エスキース評価・検索
第3回	配置図兼1階平面図①	第3回	配置図兼1階平面図①
概要	エスキース・製図①	概要	エスキース・製図①
第4回	配置図兼1階平面図②	第4回	配置図兼1階平面図②
概要	エスキース・製図②	概要	エスキース・製図②
第5回	立面図、断面図	第5回	立面図、断面図
概要	エスキース・製図	概要	エスキース・製図
第6回	矩計図	第6回	矩計図
概要	エスキース・製図	概要	エスキース・製図
第7回	設計概要	第7回	設計概要
概要	設計・所要計算	概要	設計・所要計算
第8回	パース	第8回	パース
概要	作品完成	概要	作品完成
第9回	保養所課題説明	第9回	鉄筋コンクリート造3階建共同住宅課題説明
概要	エスキースの概要説明	概要	基礎伏図・各階伏図
第10回	エスキース	第10回	柱・梁断面リスト
概要	エスキース評価・検索	概要	製図
第11回	配置図兼1階平面図①	第11回	架構配筋図
概要	エスキース・製図①	概要	製図
第12回	配置図兼1階平面図②	第12回	スラブ配筋図
概要	エスキース・製図②	概要	製図
第13回	立面図、断面図	第13回	鉄骨造3階建店舗課題説明
概要	エスキース・製図	概要	基礎伏図・各階伏図
第14回	矩計図	第14回	柱・梁断面リスト・溶接リスト
概要	エスキース・製図	概要	製図
第15回	設計概要	第15回	軸組図
概要	設計・所要計算	概要	製図

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202202

科目名	グラフィックCAD			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	星山 幸子		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、課題への取組みと、前年次科目で修得したCAD製図技術向上に加えて各種のグラフィックアプリケーション操作の学習を通じて、デジタルデザインや表現の技術を修得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	60%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	20%	○	○	○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	平面のデザイン　名刺をつくる	第1回	jw-cad応用
概要	文字の種類と書体について学び、必要な情報のレイアウトを行なう	概要	様々な作図操作を学ぶ
第2回	平面のデザイン　名刺をつくる	第2回	jw-cad応用
概要	レイアウトを基に平面デザインを行なう	概要	様々な作図操作を学ぶ
第3回	平面のデザイン　図面枠をつくる	第3回	jw-cad応用
概要	色の使い方を考察し、レイアウトを基に平面デザインを行なう	概要	様々な作図操作を学ぶ
第4回	スケッチアップ講座	第4回	フォトショップ講習
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ
第5回	スケッチアップ講座	第5回	フォトショップ講習
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ
第6回	スケッチアップ講座	第6回	イラストレーター講習
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ
第7回	スケッチアップ講座	第7回	イラストレーター講習
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ
第8回	スケッチアップ応用	第8回	アプリケーション応用
概要	様々な作成方法を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を学ぶ
第9回	スケッチアップ応用	第9回	アプリケーション応用
概要	様々な作成方法を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を学ぶ
第10回	スケッチアップ応用	第10回	アプリケーション応用
概要	様々な作成方法を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を学ぶ
第11回	スケッチアップ応用	第11回	アプリケーション応用
概要	様々な作成方法を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を学ぶ
第12回	jw-cad講座	第12回	総合演習（卒業設計）
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を応用する
第13回	jw-cad講座	第13回	総合演習（卒業設計）
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を応用する
第14回	jw-cad講座	第14回	総合演習（卒業設計）
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を応用する
第15回	jw-cad講座	第15回	ポスターデザイン
概要	アプリケーションの基本操作を学ぶ	概要	様々なアプリケーションを組み合わせた表現手法を応用する

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202302

科目名	建築計画学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

建築設計及び空間デザインに関する諸学の根幹の科目として位置づけ、寸法計画、規模計画、動線などについての基礎的知識、機能やプログラム、ビルディングタイプの解釈や成立の過程、環境心理や行動の実証的基礎理論について学習することを通じて、設計やデザインのための統合された知識と能力が修得できる。前期は建築の基礎である住空間について、後期は様々なビルディングタイプをテーマとする。

教科書・参考書名	改訂版 図説 やさしい建築計画

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	70%	○				○
小テスト						
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%	○				○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	建築計画の基本知識	第1回	美術館・博物館の計画　1
概要	建築の単位、寸法、基本的用語を学ぶ	概要	美術館・博物館の歴史、最近の計画、今後の可能性について学ぶ
第2回	各部および単位空間の計画　1	第2回	美術館・博物館の計画　2
概要	建築の各部位および各単位空間について、名称と役割を学ぶ	概要	中規模美術館のゾーニング、展示方法、照明計画について学ぶ
第3回	単位空間の計画　2	第3回	美術館・博物館の計画　3
概要	建築の各単位空間について、名称と役割を学ぶ	概要	美術館の来館者ゾーン諸室の計画、巡回形式について学ぶ
第4回	単位空間の計画　3	第4回	美術館・博物館の計画　4
概要	建築の各単位空間を実測しスケッチする	概要	美術館の館員・搬出入収蔵ゾーン諸室の計画について学ぶ
第5回	独立住宅の計画　1	第5回	図書館の計画　1
概要	独立住宅のゾーニング、配置、諸室の計画について学ぶ	概要	図書館の歴史、最近の計画、今後の可能性について学ぶ
第6回	独立住宅の計画　2	第6回	図書館の計画　2
概要	独立住宅の諸室の計画について学ぶ	概要	地域中央図書館のゾーニング、分類について学ぶ
第7回	独立住宅の計画　3	第7回	図書館の計画　3
概要	与条件をもとにして、独立住宅の計画を行なう	概要	地域中央図書館の来館者ゾーン諸室の計画について学ぶ
第8回	独立住宅の計画　4	第8回	図書館の計画　4
概要	与条件をもとにして、独立住宅の計画を行なう	概要	地域中央図書館の館員ゾーン諸室の計画について学ぶ
第9回	集合住宅の計画　1	第9回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画　1
概要	集合住宅のアクセスタイプ、断面による分類、用語について学ぶ	概要	施設ごとの概要、ゾーニングについて学ぶ
第10回	集合住宅の計画　2	第10回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画　2
概要	集合住宅のゾーニング、区分について学ぶ	概要	全体施設計画、配置・平面計画とその目的について学ぶ
第11回	集合住宅の計画　3	第11回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画　3
概要	集合住宅の住戸計画上の要点について学ぶ	概要	諸室の計画、遊び空間と発達との関係について学ぶ
第12回	小学校の計画　1	第12回	オフィスビルの計画　1
概要	小学校のゾーニング、運営方式について学ぶ	概要	オフィスビルのゾーニング、コアタイプについて学ぶ
第13回	小学校の計画　2	第13回	オフィスビルの計画　2
概要	小学校の諸室配置と計画について学ぶ	概要	配置計画、レンタブル比とコストプランの関係について学ぶ
第14回	小学校の計画　3	第14回	オフィスビルの計画　3
概要	小学校関係法令、諸室の計画上の要点、適正規模について学ぶ	概要	モデュラープランニング、建物規模の概算、EV計画について学ぶ
第15回	前期建築計画学のまとめ	第15回	後期建築計画学のまとめ
概要	前期授業範囲のふり返りとまとめ学習	概要	後期授業範囲のふり返りとまとめ学習

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202310

科目名	建築歴史			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	田中 おと吉・深水 浩		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築設計及び空間デザインに関する諸学の基本科目として位置づけ、建築の発生から発展の歴史を通じて、構造と様式の進歩を理解させ、建築計画との関連をもたせることにより、新しい建築への創造力と洞察力を育むことができる。

教科書・参考書名	カラー版 図説 建築の歴史

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	70%	○	○			
小テスト	10%	○	○			
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	西洋建築史　その1	第1回	日本建築史　その5
概要	建築の発生と古代文明の建築	概要	密教建築と浄土教建築
第2回	西洋建築史　その2	第2回	日本建築史　その6
概要	ギリシア建築の神殿と都市基盤	概要	神社建築の発展と大仏様
第3回	西洋建築史　その3	第3回	日本建築史　その7
概要	ローマ建築の背景・技術と都市施設	概要	禅宗様と新和様・折衷様
第4回	西洋建築史　その4	第4回	日本建築史　その8
概要	初期キリスト教建築の構成とその発展	概要	書院造の発生と発展
第5回	西洋建築史　その5	第5回	日本建築史　その9
概要	ビザンチン建築とイスラム建築	概要	城郭建築と茶室
第6回	西洋建築史　その6	第6回	日本建築史　その10
概要	ロマネスク建築の背景とその発展	概要	近世の寺社建築と民衆建築
第7回	西洋建築史　その7	第7回	近現代建築史　その1
概要	ゴシック建築の背景とその技術	概要	万博の建築とアーツ・アンド・クラフツ運動
第8回	西洋建築史　その8	第8回	近現代建築史　その2
概要	初期ルネサンス建築の発生と拡散	概要	アール・ヌーボーと20世紀初頭の建築運動
第9回	西洋建築史　その9	第9回	近現代建築史　その3
概要	盛期ルネサンスとマニエリスム期の建築	概要	20世紀初頭の建築家たち
第10回	西洋建築史　その10	第10回	近現代建築史　その4
概要	バロック建築とロココ建築	概要	バウハウスとインターナショナル・スタイル
第11回	西洋建築史　その11	第11回	近現代建築史　その5
概要	新古典主義建築と歴史主義建築	概要	近代建築の四大巨匠　その1
第12回	日本建築史　その1	第12回	近現代建築史　その6
概要	日本建築の背景と特質	概要	近代建築の四大巨匠　その2
第13回	日本建築史　その2	第13回	近現代建築史　その7
概要	縄文・弥生と初期の神社建築	概要	日本の近代建築
第14回	日本建築史　その3	第14回	近現代建築史　その8
概要	仏教建築の伝来と和様の発生	概要	大戦後のモダニズムから現代まで
第15回	日本建築史　その4	第15回	近現代建築史　その9
概要	平城京・平安京と寝殿造	概要	都市計画史と総合復習

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202203

科目名	建築環境工学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	岡﨑 祐介		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築環境の基本的な要素を理解し、科学的に快適な室内空間を計画する為に必要な知識と思考力を養うことができる。ここで、要素とは、太陽と関連する熱・空気・光・音の4環境である。

教科書・参考書名	初学者の建築講座 建築環境工学［第4版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題	20%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	屋外環境①	第1回	光環境①
概要	太陽位置影	概要	測光量・視感度・見易さとグレア
第2回	屋外環境②	第2回	光環境②
概要	日照・日影	概要	採光計画
第3回	屋内環境	第3回	光環境③
概要	温熱指標と空気線図	概要	立体角投射率と昼光率
第4回	熱環境①（熱力学）	第4回	光環境④
概要	熱貫流と熱伝達・熱伝導	概要	採光設計演習
第5回	熱環境①（熱力学）	第5回	光環境⑤
概要	壁体の伝熱計算	概要	照明計画
第6回	熱環境②	第6回	光環境⑥
概要	壁体内温度分布	概要	照明設計演習
第7回	熱環境③	第7回	光環境⑦
概要	熱と湿気	概要	色彩
第8回	熱環境④	第8回	中間試験
概要	結露の発生と対策	概要	まとめ（光環境）
第9回	中間試験	第9回	音環境①
概要	まとめ（熱環境）	概要	音の発生と伝播
第10回	空気環境①	第10回	音環境②
概要	汚染物質と必要換気量	概要	音の合成と分解（指数・対数関数）
第11回	空気環境②	第11回	音環境③
概要	換気方式	概要	防音計画（遮音・吸音・配置・音源）
第12回	空気環境③（流体力学）	第12回	音環境④
概要	気圧と換気量	概要	騒音・NC値・界壁の遮音性能（D値）・振動と界床の遮音性能（L値）
第13回	空気環境④（流体力学）	第13回	音環境⑤
概要	温度差換気	概要	音響計画（残響時間）
第14回	空気環境⑤（流体力学）	第14回	音環境⑥
概要	風力換気	概要	音の特異現象と効果
第15回	前期のまとめ	第15回	後期のまとめ
概要	まとめ（熱・空気環境）	概要	まとめ（光・音環境）

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202204

科目名	建築設備工学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	増田 和浩		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

建築設備の全体概要を把握し、建築と設備の関連性について理解するとともに、建築技術者として必要な建築設備に関する知識を修得できる。

教科書・参考書名	初学者の建築講座 建築設備［第4版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題	10%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築設備概要	第1回	消火設備Ⅰ
概要	導入、建築設備の種類と特徴	概要	消火設備の基本事項
第2回	給水設備Ⅰ	第2回	消火設備Ⅱ
概要	給水方式の種類と特徴	概要	屋内消火栓設備と屋外消火栓設備
第3回	給水設備Ⅱ	第3回	消火設備Ⅲ
概要	給水量の算定と給水圧力	概要	スプリンクラ設備とその他の消火設備
第4回	給水設備Ⅲ	第4回	空気調和設備Ⅰ
概要	給水配管・給水器具・汚染防止対策	概要	空気調和設備の種類と特徴
第5回	給水設備Ⅳ	第5回	空気調和設備Ⅱ
概要	受水タンク・高置タンクの容量	概要	暖房負荷計算1
第6回	給水設備Ⅴ	第6回	空気調和設備Ⅲ
概要	高置タンクの設置高さ	概要	暖房負荷計算2
第7回	給水設備Ⅵ	第7回	空気調和設備Ⅳ
概要	給水管の管径計算①	概要	冷房負荷計算1
第8回	給水設備Ⅶ	第8回	空気調和設備Ⅴ
概要	給水管の管径計算②	概要	冷房負荷計算2
第9回	排水・通気設備Ⅰ	第9回	空気調和設備Ⅵ
概要	排水の種類と排水方式	概要	空気線図1
第10回	排水・通気設備Ⅱ	第10回	空気調和設備Ⅶ
概要	トラップの機能・破封および防止対策	概要	空気線図2
第11回	排水・通気設備Ⅲ	第11回	空気調和設備Ⅷ
概要	各種排水配管	概要	空調設備の種類と特徴1
第12回	排水・通気設備Ⅳ	第12回	空気調和設備Ⅸ
概要	通気方式の種類と特徴	概要	空調設備の種類と特徴2
第13回	排水・通気設備Ⅴ	第13回	空気調和設備Ⅹ
概要	雨水排水設備と管径計算	概要	熱源方式の種類と特徴
第14回	排水・通気設備Ⅵ	第14回	空気調和設備ⅩⅠ
概要	排水管の管径計算	概要	熱搬送設備と空気調和用機器
第15回	排水・通気設備Ⅶ	第15回	電気設備とその他の設備
概要	衛生器具設備の種類と特徴	概要	電気設備の種類と特徴とその他の設備

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202303

科目名	建築構造力学・同演習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	6単位	担当教員	泉 洋輔・西村 博之		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士、構造設計一級建築士		

授業の目標・ねらい

構造力学は、構造物に外力が作用したとき、どのような「力」と「変形」が生じるのかを求め、結果として建築物が構造的に安全かどうかを検討するものである。よって、建築物に生じる「力の流れ」を理解し、部材にどのような力が生じるか判断し、それを求めることのできる能力を養う。

教科書・参考書名	基礎講座 建築構造力学

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト	30%	○				
課題	10%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	構造力学の基礎①	第1回	トラスの構造形式と応力解析
概要	力と長さの単位・連立方程式（クラメル・掃き出し法）	概要	トラスの種類と三角関数
第2回	構造力学の基礎②	第2回	トラスの解法①
概要	構造形式・部材と力のモデル化・力のモーメント	概要	節点法
第3回	構造力学の基礎③	第3回	トラスの解法②
概要	力の合成・分解①（力のベクトル・図式解法）	概要	切断法
第4回	構造力学の基礎④	第4回	断面の性質①
概要	力の合成・分解②（バリニオンの定理・モーメント計算）	概要	断面一次ﾓｰﾒﾝﾄ・断面二次ﾓｰﾒﾝﾄ
第5回	ラーメンの構造形式と応力解析	第5回	断面の性質②
概要	ラーメンの種類と方程式	概要	断面係数・断面二次半径
第6回	反力計算①	第6回	材料力学（応力度～歪度曲線）
概要	支点のモデル化・単純梁と片持梁の反力計算	概要	応力度・ひずみ度・弾性係数
第7回	反力計算②	第7回	中間テスト
概要	ラーメンの反力計算	概要	トラスと断面の性質
第8回	中間テスト	第8回	梁の断面設計
概要	梁・ラーメンの反力計算	概要	許容応力度計算
第9回	部材応力の計算①	第9回	柱の断面設計
概要	単純梁、片持梁の応力（N・Q・M）計算	概要	細長比と座屈
第10回	部材応力の計算②	第10回	部材の変形
概要	単純梁系ラーメンの応力（N・Q・M）計算	概要	たわみ角・たわみとモールの定理
第11回	部材応力の計算③	第11回	不静定構造物の解法①
概要	片持梁系ラーメンの応力（N・Q・M）計算	概要	モールの定理による応力解析
第12回	部材応力の計算④	第12回	不静定構造物の解法②
概要	ゲルバー梁の応力（N・Q・M）計算	概要	弾性曲線による応力解析
第13回	部材応力の計算⑤	第13回	不静定構造物の解法③
概要	3ヒンジラーメンの応力（N・Q・M）計算	概要	たわみ角法による応力解析
第14回	部材応力のまとめ	第14回	部材設計のまとめ
概要	演習問題	概要	演習問題
第15回	総合演習	第15回	総合演習
概要	試験範囲のプレテストの実施・自己採点	概要	試験範囲のプレテストの実施・自己採点

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202304

科目名	建築一般構造学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	阪本 剛史		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。建築物の構造法の基礎知識を理解し、科学的、合理的、経済的に計画し設計、施工が正しく行える能力を修得することができる。

教科書・参考書名	初学者の建築講座 建築構造［第3版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	10%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築構造と構造材料	第1回	RC造の計画
概要	各種構造法・建築構造法と材料	概要	概説材料（セメント・骨材・鉄筋）
第2回	構造の概要・要点	第2回	RC造の原理・特徴
概要	建築の要点を知る	概要	鉄筋とコンクリートの働き
第3回	外装の計画	第3回	鉄筋の継手、付着、被り
概要	建築の要点を知る	概要	最小長さ・厚さ・基礎の種類
第4回	断面の設計	第4回	主体の構造計画・柱
概要	各種の高さ	概要	柱の構造
第5回	木造の構法	第5回	梁
概要	木造の各構法	概要	はりの構造
第6回	軸組構法	第6回	床スラブ・壁・階段
概要	基礎・軸組・土台	概要	スラブの構造・壁・階段の構造
第7回	柱	第7回	RC造の総括
概要	柱・筋かいの要点	概要	
第8回	構造耐力上必要な軸組	第8回	S造の計画
概要	耐力壁・法令による壁量	概要	S造の概説、法令抜粋、鋼材
第9回	枠組壁工法	第9回	接合・骨組
概要	枠組壁工法の要点	概要	接合と構造形式
第10回	小屋組	第10回	主体の構造
概要	小屋組の構造	概要	基礎・柱脚・柱の構造説明
第11回	階段・床	第11回	梁・床
概要	階段の構造・床の構造	概要	はりと床の構造
第12回	外部仕上・屋根	第12回	ブレース・小屋組・耐火被膜・階段
概要	屋根下地・各仕上	概要	種類・構造
第13回	天井・内部壁仕上・床仕上	第13回	SRC構造
概要	天井の種類と仕上・壁・床の仕上	概要	SRC造の概要
第14回	床の間まわり	第14回	補強コンクリートブロック構造
概要	床まわりの構造	概要	CB造の構造
第15回	総合演習・耐力壁のチェックおよび計算	第15回	プレキャストコンクリート構造
概要	壁量計算	概要	PCコンクリート構造の概要

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202305

科目名	建築材料学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	齋藤 義憲・松木 茂		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。各建築材料の製造方法・性質・種類・特徴、各材料に付随する規格・用途・建築構法との関連、コスト、近年の動向、新素材などを理解。材料を適材適所に選択・応用することができる能力を習得できる。

教科書・参考書名	改訂版 図説 やさしい建築材料

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築材料の基礎	第1回	セメント・コンクリート
概要	建築材料の分類・発達など、材料総合	概要	コンクリートの強度・養生について
第2回	木材	第2回	セメント・コンクリート
概要	木材の一般性的性質・成長・分類・心材・辺材	概要	コンクリートの調合計算について、演習
第3回	木材	第3回	セメント・コンクリート
概要	木材の木取りと木理・製材・方向性について	概要	各種セメント・コンクリート製品について
第4回	木材	第4回	金属材料
概要	木材の区分・欠点について	概要	金属の全体説明と鉄類の分類
第5回	木材	第5回	金属材料
概要	木材の乾燥の重要性・特徴	概要	炭素鋼の化学成分・製法など
第6回	木材	第6回	金属材料
概要	木材の水質分とその変形・強さについて	概要	炭素鋼の性質・熱処理・腐食など
第7回	木材	第7回	金属材料
概要	木材の腐朽・虫害・燃焼の特徴と対策について	概要	非鉄金属の種類・特徴・用途について
第8回	木材	第8回	セラミックス
概要	木材加工品の製造方法・製品内容・使用法について	概要	セラミックス（粘土製品）について
第9回	セメント・コンクリート	第9回	ガラス
概要	セメント・コンクリートの一般的性質	概要	ガラスの種類と特徴
第10回	セメント・コンクリート	第10回	ガラス
概要	セメントの種類・主要科学成分・製法について	概要	ガラス製品と用途
第11回	セメント・コンクリート	第11回	左官材料
概要	セメントの化学変化の状態・比重・粉末度について	概要	石灰・石膏材料
第12回	セメント・コンクリート	第12回	プラスチックス
概要	セメントの凝結・安定性・強さについて	概要	プラスティック材料
第13回	セメント・コンクリート	第13回	アスファルト
概要	コンクリート用の水・骨材の望ましい性質について	概要	防水材料
第14回	セメント・コンクリート	第14回	その他の材料
概要	コンクリートの水セメント比・ワーカビリティ	概要	塗料・接着剤・その他の材料
第15回	木材・セメント・コンクリート	第15回	内装材料
概要	総合演習	概要	床・壁天井材料の特徴

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202306

科目名	建築実験実習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	樋下 昌俊・山本 順也・井上 嘉亮		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士、1級建築施工管理技士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。コンクリート等の建築材料について、試験方法や規格などを理解し理論と品質管理技術など実験を通して体験的に学習できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○				
小テスト						
課題	50%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク	20%					○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築材料概論	第1回	
概要	建築材料の種類、品質管理、使用方法など	概要	
第2回	木材の強さ	第2回	
概要	木材の縦圧縮、横圧縮強度試験 （檜、米松、杉）	概要	
第3回	木材の接合	第3回	
概要	釘の種類と接合強さ	概要	
第4回	コンクリート概論	第4回	
概要	コンクリートの構成材料と特徴	概要	
第5回	コンクリートの材料試験①	第5回	
概要	骨材のふるい分け試験 （細骨材、粗骨材）	概要	
第6回	コンクリートの材料試験②	第6回	
概要	骨材の比重試験 （細骨材、粗骨材）	概要	
第7回	コンクリートの材料試験③	第7回	
概要	骨材の単位容積重量試験 （細骨材、粗骨材）	概要	
第8回	コンクリートの材料試験④	第8回	
概要	セメントの比重試験	概要	
第9回	コンクリートの材料試験⑤	第9回	
概要	セメントのフロー試験、供試体作成	概要	
第10回	コンクリートの材料試験⑥	第10回	
概要	セメントの曲げ強さ、圧縮強度試験	概要	
第11回	コンクリートの材料試験⑦	第11回	
概要	調合設計計算書の作成	概要	
第12回	コンクリートの材料試験⑧	第12回	
概要	試験練り （スランプ・空気量の測定）	概要	
第13回	コンクリートの材料試験⑨	第13回	
概要	圧縮強度試験	概要	
第14回	鉄筋の材料試験①	第14回	
概要	鉄筋の特性、異形棒鋼と丸鋼の違い	概要	
第15回	鉄筋の材料試験②	第15回	
概要	鉄筋の引張試験 （異形棒鋼、丸鋼）	概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202307

科目名	建築施工			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	小林 利徳・瀬口 裕章		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士、2級建築施工管理技士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。各種建築工事を正しく行うための品質、工程、安全、原価、環境管理についての知識や、他の工事との関連、経験的、慣習的な事項について修得することができる。

教科書・参考書名	施工がわかる　イラスト建築生産入門

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	25%	○				
小テスト						
課題	25%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	50%	○				○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築施工の概要、建築生産とは、建物が出来る過程	第1回	鉄筋コンクリート：鉄筋工事
概要	建設する施工形態	概要	継手、定着、組立・加工、配筋検査
第2回	施工者選定し、工事請負契約を結ぶ	第2回	鉄筋コンクリート：型枠工事
概要	施工者選定、工事契約方式、工事請負契約	概要	型枠の材料、保管、せき板、側圧、用語の理解
第3回	工事に着手する	第3回	鉄筋コンクリート：型枠工事
概要	施工計画の立案、着工前の仕事について	概要	組立、支保工の存知期間
第4回	工事に着手する	第4回	鉄筋コンクリート：コンクリート工事
概要	品質管理、品質とは、管理の手法、瑕疵について	概要	種類、材料、コンクリート打設準備
第5回	工事に着手する	第5回	鉄筋コンクリート：コンクリート工事
概要	原価管理、工事原価と工事価格、実行予算について	概要	運搬時間、コンクリート打設、荷卸し検査
第6回	工事に着手する	第6回	鉄筋コンクリート：コンクリート工事
概要	工事計画・工程管理の手法、工程表の種類について	概要	打ち込み、締固め、打継、養生および期間、脱型
第7回	工事に着手する	第7回	鉄骨工事建物の種類、構造上の特徴
概要	安全管理、現場での安全衛生管理、環境管理ついて	概要	製作・現場の工程、鋼材の種類、ミルシート
第8回	工事に着手する	第8回	鉄骨工事
概要	着工準備、事前調査、地盤調査の種類、官庁届出他	概要	原寸検査、ボルト接合、締付け工具、マーキング
第9回	土工事	第9回	鉄骨工事
概要	山留工事	概要	加工・組立て、現場作業、建方方式・順序、溶接
第10回	土工事	第10回	仕上工事：屋根・防水工事
概要	排水・止水工法の種類、地盤の安定	概要	屋根工事の種類、防水工事の種類、シーリング工事
第11回	地業・基礎工事	第11回	仕上工事：左官工事
概要	基礎、杭の分類	概要	左官工事の種類
第12回	地業・基礎工事	第12回	仕上工事：タイル・石工事
概要	既製杭と場所打ち杭の種類と特徴他	概要	タイル・石工事の種類
第13回	仮設工事・準備工事	第13回	仕上工事： 建具・ガラス工事
概要	仮設工事の分類、仮囲い、門扉、仮設建物、足場他	概要	木製・金属建具分類、取付け、ガラス工事種類、取付け
第14回	仮設工事・準備工事	第14回	仕上工事：金属工事、内装工事
概要	揚重設備の種類と特徴、BM、縄張り、造り方について	概要	内装工事の床、壁、天井の種類
第15回	鉄筋コンクリート建物の種類、構造上の特徴	第15回	仕上工事：塗装工事、総括
概要	材料と各部位構成、かぶり厚さ、鉄筋間隔	概要	塗装の種類、塗装方法の種類

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202205

科目名	建築積算学・同演習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	稲原 泰裕		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。建築生産の計画、設計、施工の各部門において、建築コストの経済性を探究し、数量積算を修得できる。建築数量積算基準に従って、建築工事における工事費が、どのようにして算出するのかを把握することができる。

教科書・参考書名	積算協会のPCMシリーズⅢ 建築積算

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト						
課題	25%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	25%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	積算とは	第1回	コンクリート・型枠工事
概要	建築積算の目的	概要	前期おさらい、階段
第2回	工事費の構成	第2回	鉄筋工事
概要	内訳書の内容を概略的に把握	概要	共通事項について
第3回	単価の種類と計算「積算方式」	第3回	鉄筋工事
概要	単価はどのようにして決まるか	概要	基礎・基礎梁
第4回	数量の種類と計算上の約束	第4回	鉄筋工事
概要	積算基準を知る	概要	基礎・基礎梁演習問題
第5回	土工事	第5回	鉄筋工事
概要	根切数量、根切計画図	概要	柱
第6回	土工事	第6回	鉄筋工事
概要	残土数量、埋戻数量	概要	梁
第7回	土工事	第7回	鉄筋工事
概要	数量積算演習問題	概要	床版、壁版、その他
第8回	コンクリート・型枠工事	第8回	鉄筋工事
概要	共通事項について	概要	柱、梁、床版演習問題
第9回	コンクリート・型枠工事	第9回	鉄骨工事
概要	基礎・基礎梁の拾い出し	概要	共通事項について
第10回	コンクリート・型枠工事	第10回	
概要	下部躯体演習問題	概要	骨組、接合法の解説
第11回	コンクリート・型枠工事	第11回	
概要	柱部分	概要	節柱（主材）節柱（溶接）
第12回	コンクリート・型枠工事	第12回	各種仕上工事積算の概略
概要	梁部分	概要	
第13回	コンクリート・型枠工事	第13回	各種仕上工事積算
概要	床版、壁版、その他	概要	演習問題
第14回	コンクリート・型枠工事	第14回	コンクリート・型枠工事、鉄筋工事
概要	上部躯体演習	概要	総合演習
第15回	土工事、コンクリート・型枠工事	第15回	鉄骨工事、各種仕上工事
概要	総合演習	概要	総合演習

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202206

科目名	建築法規			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	齋藤 義憲		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築分野の諸学の基本科目として位置づける。建築基準法及び関係法令の体系及び精神を理解し、建築物の安全に関すること、都市環境の保護と土地利用の調整に関すること、技術者として法令遵守の重要性など基礎的知識を修得することができる。

教科書・参考書名	井上建築関係法令集

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	法規の体系	第1回	火災防止に関する規定-1
概要	憲法・法律・政令・省令・条例・細則の関係	概要	建築基準法と消防法・火災拡大防止対策
第2回	建築法規の使命	第2回	火災防止に関する規定-2
概要	意義・効果・建築と法規のかかわり	概要	準不燃材料・耐火構造・耐火建築物・準耐火建築物
第3回	用語の定義-1	第3回	避難に関する規定-1
概要	法令用語（以上・以下・及び・並びに・若しくは等）	概要	内装制限・防火区画・延焼防止対策
第4回	用語の定義-2	第4回	避難に関する規定-2
概要	建築基準法の用語（建築物・特殊建築物・居室など）	概要	避難安全対策・2直階段・重複距離・防火地域
第5回	用語の定義-3	第5回	居室の採光及び換気
概要	建築・主要構造部・建築面積・道路の定義など	概要	採光有効面積・採光補正係数・換気設備
第6回	用語の定義-4	第6回	居室の天井及び床下換気
概要	高さと地盤面・階数・地階の定義・各種緩和措置など	概要	天井高の計算・床高と防湿方法・遮音
第7回	用語の定義に関する問題の演習	第7回	階段の構造
概要	二級建築士問題の過去問題を解く	概要	階段の寸法・踊り場の設置・廊下の幅
第8回	建築工事遂行の手続	第8回	火災・避難・居室に関する問題の演習
概要	確認申請・建築工事届・中間検査申請など	概要	二級建築士問題の過去問題を解く
第9回	法施行に関する行政事務	第9回	用途地域-1
概要	特定行政庁・建築主事・指定確認検査機関の関係	概要	用途地域に応じた容積率・建蔽率の計算
第10回	構造強度に関する規定-1	第10回	用途地域-2
概要	構造計算規定・仕様規定・一般的な規定について	概要	用途地域に応じた高さ制限・日影規制の計算
第11回	構造強度に関する規定-2	第11回	都市計画区域
概要	各構造種別ごとの規定（木造・RC造・S造）	概要	防火地域・準防火地域・市街化・市街化調整区域
第12回	構造強度に関する規定-3	第12回	建築士法・建築業法
概要	地震力・風圧力に対する軸組の長さの計算	概要	建築士の区分・建設業の区分と許可
第13回	手続・構造関する問題の演習	第13回	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
概要	実例の問題を解く	概要	住宅の品質確保促進法・耐震改修促進法・都市計画法
第14回	総合演習-1	第14回	総合演習-1
概要	試験範囲の演習問題を解く・法令集の附箋作成	概要	試験範囲の演習問題を解く・法令集の附箋作成
第15回	総合演習-2	第15回	総合演習-2
概要	試験範囲のプレテストを実施・自己採点	概要	試験範囲のプレテストを実施・自己採点

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202308

科目名	スペースデザインⅠ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	眞野 サトル		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士、管理建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する根幹の科目として位置づけ、さまざまな演習課題への取組みを通じて、デザインに必要な「かんがえる」「つくる」「つたえる」3つの力の基礎能力が修得できる。すべての空間の基本となる住空間への考察を主たるテーマとする。

教科書・参考書名	エスキスって何？

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	30%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	30%	○	○	○	○	○
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	30%	○	○	○	○	○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	課題1　基本空間のデザイン1	第1回	課題4　住宅キッチン空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	課題説明・エスキス
第2回	課題1　基本空間のデザイン1	第2回	課題4　住宅キッチン空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	製作
第3回	課題1　基本空間のデザイン1	第3回	課題4　住宅キッチン空間の提案
概要	模型製作	概要	製作・提出
第4回	課題1　基本空間のデザイン1	第4回	課題4　住宅キッチン空間の提案
概要	模型製作	概要	プレゼンテーション・講評
第5回	課題1　基本空間のデザイン1	第5回	課題5　住空間の提案
概要	プレゼンテーション・講評	概要	課題説明・スタディモデル作成
第6回	課題2　基本空間のデザイン2	第6回	課題5　住空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	課題説明・スタディモデル作成
第7回	課題2　基本空間のデザイン2	第7回	課題5　住空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	スタディモデル作成・提出
第8回	課題2　基本空間のデザイン2	第8回	課題5　住空間の提案
概要	模型製作	概要	インテリア検討
第9回	課題2　基本空間のデザイン2	第9回	課題5　住空間の提案
概要	模型製作	概要	インテリア検討
第10回	課題2　基本空間のデザイン2	第10回	課題5　住空間の提案
概要	プレゼンテーション・講評	概要	インテリア提案
第11回	課題3　基本空間のデザイン3	第11回	課題5　住空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	内部、外部パース作図
第12回	課題3　基本空間のデザイン3	第12回	課題5　住空間の提案
概要	課題説明・スケッチ	概要	パース着彩
第13回	課題3　基本空間のデザイン3	第13回	課題5　住空間の提案
概要	模型製作	概要	PCプレゼンテーション手法説明、パース着彩
第14回	課題3　基本空間のデザイン3	第14回	課題5　住空間の提案
概要	模型製作	概要	PCプレゼンテーションまとめ
第15回	課題3　基本空間のデザイン3	第15回	課題5　住空間の提案
概要	プレゼンテーション・講評	概要	プレゼンテーション・講評

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202207

科目名	スペースデザインⅡ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	阪本 剛史・鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する根幹の科目として位置づけ、前科目で修得した基礎知識や技術を駆使した演習課題への取組みを通じて、デザインに必要な「かんがえる」「つくる」「つたえる」3つの力の応用能力が修得できる。照明・家具什器など身体に近いスケールの空間から物販・飲食・公共空間までを主たるテーマとする。

教科書・参考書名	エスキスって何？

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	30%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	30%	○	○	○	○	○
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	30%	○	○	○	○	○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	課題1　照明デザイン	第1回	課題4　飲食空間デザイン
概要	課題説明・ワークショップ	概要	課題説明・ワークショップ
第2回	課題1　照明デザイン	第2回	課題4　飲食空間デザイン
概要	エスキス	概要	エスキス
第3回	課題1　照明デザイン	第3回	課題4　飲食空間デザイン
概要	製作	概要	製作
第4回	課題1　照明デザイン	第4回	課題4　飲食空間デザイン
概要	製作	概要	製作
第5回	課題1　照明デザイン	第5回	課題4　飲食空間デザイン
概要	プレゼンテーションおよびデザインレビュー	概要	プレゼンテーションおよびデザインレビュー
第6回	課題2　コンセプトワーク	第6回	課題5　公共空間デザイン
概要	課題説明・ワークショップ	概要	課題説明・ワークショップ
第7回	課題2　コンセプトワーク	第7回	課題5　公共空間デザイン
概要	プレゼンテーションおよびデザインレビュー	概要	エスキス
第8回	課題3　物販空間デザイン(什器)	第8回	課題5　公共空間デザイン
概要	課題説明・ワークショップ	概要	製作
第9回	課題3　物販空間デザイン(什器)	第9回	課題5　公共空間デザイン
概要	エスキス	概要	製作
第10回	課題3　物販空間デザイン(什器)	第10回	課題5　公共空間デザイン
概要	製作	概要	製作
第11回	課題3　物販空間デザイン(什器)	第11回	課題5　公共空間デザイン
概要	中間デザインレビュー	概要	プレゼンテーションおよびデザインレビュー
第12回	課題3　物販空間デザイン	第12回	総合演習
概要	製作	概要	卒業設計を題材に表現のブラッシュアップ
第13回	課題3　物販空間デザイン	第13回	総合演習
概要	製作	概要	卒業設計を題材に表現のブラッシュアップ
第14回	課題3　物販空間デザイン	第14回	総合演習
概要	製作	概要	卒業設計を題材に表現のブラッシュアップ
第15回	課題3　物販空間デザイン	第15回	総合演習
概要	プレゼンテーションおよびデザインレビュー	概要	卒業設計を題材に表現のブラッシュアップ

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202314

科目名	インテリアコーディネート			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	3単位	担当教員	田中 嘉代		
				実務経験および関連資格	意匠デザインの経験を有する教員による講義や演習。 カラーコーディネーター2級、インテリアコーディネーター		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、課題と座学、各インテリア関連資格対策を通じて、インテリアに関する基礎的知識を修得できる。

教科書・参考書名	インテリアコーディネーター合格テキスト[第3版]

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○				
小テスト						
課題	30%	○		○	○	○
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	40%	○				○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	住まいのインテリアコーディネート	第1回	住まいインテリアコーディネート
概要	資格試験について　詳細　対策等	概要	インテリアスタイルについて
第2回	インテリアデザイン史①	第2回	カラースキーム実習　①
概要	家具から歴史を探る　世界の椅子	概要	商品知識　床とカーペット
第3回	インテリアデザイン史②	第3回	カラースキーム実習　②
概要	日本の生活様式　住宅とインテリア	概要	商品知識　壁紙
第4回	インテリア設計士学科問題、実技問題	第4回	カラースキーム実習　③
概要	解説と対策	概要	商品知識　カーテンとスタイルメカ
第5回	インテリア計画①	第5回	インテリアコーディネーター2次試験問題①
概要	人体寸法、動作寸法,単位空間、家具寸法	概要	解説と対策
第6回	インテリア計画②	第6回	カラースキーム実習　④
概要	スタイルと各室の計画	概要	カラースキームシート完成
第7回	材料①	第7回	住まいの電気配線計画
概要	床材、壁材、天井材	概要	スイッチ・コンセント等の知識と設置
第8回	材料②	第8回	住まいのインテリアコーディネート提案①
概要	素材の特色　石　木材、ガラス等	概要	水回り　キッチン等
第9回	室内装備	第9回	住まいのインテリアコーディネート提案②
概要	建具、水回り	概要	置き家具と造作家具
第10回	室内装飾	第10回	住まいのインテリアコーディネート提案③
概要	窓装飾、カーペット	概要	玄関まわりと建具
第11回	インテリア設計関連法規と商品知識	第11回	住まいのインテリアコーディネート提案④
概要	日本室内基準と規定　商品マーク	概要	庭、バルコニー
第12回	家具の知識と構成	第12回	テーブルコーディネート①
概要	家具製作の図面とデザイン	概要	西洋のマナー
第13回	インテリアデザイン実技検定①	第13回	テーブルコーディネート②
概要	解説と対策	概要	日本のマナーと産地（家具、漆器、器，軸）
第14回	インテリアデザイン実技検定②	第14回	設営と室内アクセサリーについて
概要	パース　（1焦点、アイソメ、アクソメ）	概要	グリーン、ペット　オブジェ
第15回	インテリアデザイン技能検定③	第15回	茶室の仕組み
概要	自由課題	概要	茶やマナー

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202309

科目名	情報処理・同演習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、CAD操作やビジネスアプリケーションの適切な使用方法を学ぶことを通じて、コンピュータを使用する設計手法の基礎力が修得できる。CAD学習については建築物のCAD入力と設計のほか、資格試験への対策学習も行なう。

教科書・参考書名	はじめて学ぶAutoCAD2023 作図・操作ガイド

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%	○			○	
小テスト						
課題	40%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	コンピュータ概論	第1回	プレゼンテーションソフト操作
概要	PC使用の初期設定と概論	概要	パワーポイントの基本操作
第2回	ビジネス文章作成基礎①	第2回	プレゼンテーションソフト操作習得
概要	WORDを使用しての文章の作成（案内文書の作成）	概要	「自己紹介」をパワーポイントを使用し作成①
第3回	ビジネス文章作成基礎②	第3回	プレゼンテーションソフト操作習得
概要	WORDを使用しての文章の作成（表を含む文書の作成）	概要	「自己紹介」をパワーポイントを使用し作成②
第4回	ビジネス文章作成応用	第4回	プレゼンテーションソフト操作習得
概要	WORDを使用してのリスト作成	概要	「自己紹介」をパワーポイントを使用し作成③
第5回	表計算ソフト操作	第5回	プレゼンテーションソフト操作習得
概要	EXCELソフト基本操作の習得	概要	「自己紹介」の発表
第6回	AUTOCADを使用してのCADソフト操作習得	第6回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	図面作成に必要なコマンドの習得　線分、削除、座標入力	概要	柱・壁図面①
第7回	AUTOCADを使用してのCADソフト操作習得	第7回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	図面作成に必要なコマンドの習得　線分を使用しての図形作図	概要	柱・壁図面②
第8回	AUTOCADを使用してのCADソフト操作習得	第8回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	図面作成に必要なコマンドの習得　円、円弧等	概要	通り芯・寸法図面①
第9回	AUTOCADを使用してのCADソフト操作習得	第9回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	図面作成に必要なコマンドの習得　移動、複写、フィレット、オフセット	概要	通り芯・寸法図面②
第10回	AUTOCADを使用してのCADソフト操作習得	第10回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	テンプレートの作成	概要	階段詳細図　図面①
第11回	AUTOCADを使用しての作図	第11回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	簡単な鉄筋コンクリート平面図の作成・通り芯、壁の作図	概要	階段詳細図　図面②
第12回	AUTOCADを使用しての作図	第12回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	簡単な鉄筋コンクリート平面図の作成・通り芯、壁の作図	概要	階段詳細図　図面③
第13回	AUTOCADを使用しての作図	第13回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	簡単な鉄筋コンクリート平面図の建具の作成	概要	建具詳細図　図面①
第14回	AUTOCADを使用しての作図	第14回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	簡単な鉄筋コンクリート平面図の階段、家具の作成	概要	建具詳細図　図面②
第15回	AUTOCADを使用しての作図	第15回	資格に対するCAD課題（建築CAD検定3級）に挑戦
概要	簡単な鉄筋コンクリート平面図の文字・寸法の作成	概要	建具詳細図　図面③

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202208

科目名	卒業設計			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

本校において2年間に各科目等で習得した「考えるちから」「つくるちから」「伝えるちから」を応用し、総合的にひとつの空間を創作することによって、2年間の学修の総仕上げとする。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	30%				○	
グループワーク						
授業での姿勢						
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	学生は次の3つのコースから一つ選択すること	第1回	
概要		概要	
第2回	1、スペースデザインコース	第2回	
概要	構造：自由　用途：自由	概要	
第3回	2、インテリアデザインコース	第3回	
概要	構造：自由　用途：自由	概要	
第4回	3. 基本設計コース	第4回	
概要	構造、用途：学科教員の指示による	概要	
第5回		第5回	
概要		概要	
第6回		第6回	
概要		概要	
第7回		第7回	
概要		概要	
第8回		第8回	
概要		概要	
第9回		第9回	
概要		概要	
第10回		第10回	
概要		概要	
第11回		第11回	
概要		概要	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202311

科目名	造形基礎演習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	大河 千春		
				実務経験および関連資格	デザイン及び造形教育の経験を有する教員による演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、さまざまな画材や手法を用いた課題制作を通じて、表現の基礎力が修得できる。平面デザイン、立体造形を主たるテーマとする。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%	○		○	○	○
プレゼンテーション	30%	○		○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第1回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	出題・グリッド作成	概要	出題・道具の使い方、マチエール写真撮影
第2回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第2回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	グリッド作成・アウトライン作成	概要	スタディ
第3回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第3回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	アウトライン作成	概要	スタディ
第4回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第4回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	アウトライン作成・模写	概要	オブジェ作成
第5回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第5回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	模写	概要	オブジェ作成
第6回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第6回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	模写	概要	箱の作成
第7回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第7回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	中間チェック	概要	添景作成・スケッチ・コンセプト作成・提出
第8回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第8回	課題3　立体オブジェ・マチエールの模写
概要	模写	概要	プレゼンテーション・講評
第9回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第9回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	模写	概要	出題・アイデアスケッチ
第10回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第10回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	模写	概要	アイデアスケッチ・スタディ
第11回	課題1　精密デッサン・人物クロッキー	第11回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	模写・提出後合評	概要	チェア製作
第12回	課題2　色彩構成・人物クロッキー	第12回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	出題・アウトライン作成・線の引きかた練習	概要	チェア製作
第13回	課題2　色彩構成・人物クロッキー	第13回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	線の引きかた練習	概要	チェア製作・箱の作成
第14回	課題2　色彩構成・人物クロッキー	第14回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	着彩	概要	スケッチ作成・コンセプト作成・提出
第15回	課題2　色彩構成・人物クロッキー	第15回	課題4　チェア模型・マチエールの模写
概要	着彩・提出後合評	概要	プレゼンテーション・講評

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202312

科目名	デザイン基礎演習Ⅰ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	大河 千春		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、基礎的な図学の授業と実践、パースグリッドとディテールの作図を通じて、手描きパース作図の能力が修得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%	○		○	○	○
プレゼンテーション	30%	○		○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	建築パース概説・立方体の作図1	第1回	
概要		概要	
第2回	建築パース概説・立方体の作図2	第2回	
概要		概要	
第3回	パースグリッドの作図	第3回	
概要		概要	
第4回	パースグリッドの作図	第4回	
概要		概要	
第5回	パースグリッドの作図	第5回	
概要		概要	
第6回	パースグリッドの作図	第6回	
概要		概要	
第7回	パースグリッドの作図	第7回	
概要		概要	
第8回	ディテールの作図	第8回	
概要		概要	
第9回	ディテールの作図	第9回	
概要		概要	
第10回	ディテールの作図	第10回	
概要		概要	
第11回	ディテールの作図	第11回	
概要		概要	
第12回	着彩の技法	第12回	
概要		概要	
第13回	着彩の技法	第13回	
概要		概要	
第14回	着彩の技法	第14回	
概要		概要	
第15回	着彩の技法	第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202313

科目名	デザイン基礎演習Ⅱ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	大河 千春		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、基礎的な図学の授業と実践、パースグリッドとディテールの作図を通じて、手描きパース作図の能力が修得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%	○		○	○	○
プレゼンテーション	30%	○		○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	着彩の技法
概要		概要	
第2回		第2回	着彩の技法
概要		概要	
第3回		第3回	着彩の技法
概要		概要	
第4回		第4回	着彩の技法
概要		概要	
第5回		第5回	着彩の技法
概要		概要	
第6回		第6回	応用パース
概要		概要	
第7回		第7回	応用パース
概要		概要	
第8回		第8回	応用パース
概要		概要	
第9回		第9回	応用パース
概要		概要	
第10回		第10回	応用パース
概要		概要	
第11回		第11回	ディテールの作図と表現
概要		概要	
第12回		第12回	ディテールの作図と表現
概要		概要	
第13回		第13回	ディテールの作図と表現
概要		概要	
第14回		第14回	ディテールの作図と表現
概要		概要	
第15回		第15回	ディテールの作図と表現
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202209

科目名	デザイン演習Ⅰ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	岡本 朗		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、1年次に修得した能力を基盤として、応用的なデザインと表現技法の学習を通じて、より複雑で豊かな表現能力が修得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%		○	○	○	○
プレゼンテーション	30%		○	○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	概説・応用課題1	第1回	
概要		概要	
第2回	応用課題1	第2回	
概要		概要	
第3回	応用課題1	第3回	
概要		概要	
第4回	応用課題1	第4回	
概要		概要	
第5回	応用課題1	第5回	
概要		概要	
第6回	応用課題1	第6回	
概要		概要	
第7回	応用課題2	第7回	
概要		概要	
第8回	応用課題2	第8回	
概要		概要	
第9回	応用課題2	第9回	
概要		概要	
第10回	応用課題2	第10回	
概要		概要	
第11回	応用課題2	第11回	
概要		概要	
第12回	応用課題3	第12回	
概要		概要	
第13回	応用課題3	第13回	
概要		概要	
第14回	応用課題3	第14回	
概要		概要	
第15回	応用課題3	第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202210

科目名	デザイン演習Ⅰ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	岡本 朗		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する発展科目として位置づけ、1年次に修得した能力を基盤として、応用的なデザインと表現技法の学習を通じて、より複雑で豊かな表現能力が修得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%		○	○	○	○
プレゼンテーション	30%		○	○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	概説・応用課題1
概要		概要	
第2回		第2回	応用課題1
概要		概要	
第3回		第3回	応用課題1
概要		概要	
第4回		第4回	応用課題1
概要		概要	
第5回		第5回	応用課題1
概要		概要	
第6回		第6回	応用課題1
概要		概要	
第7回		第7回	応用課題2
概要		概要	
第8回		第8回	応用課題2
概要		概要	
第9回		第9回	応用課題2
概要		概要	
第10回		第10回	応用課題2
概要		概要	
第11回		第11回	応用課題2
概要		概要	
第12回		第12回	応用課題3
概要		概要	
第13回		第13回	応用課題3
概要		概要	
第14回		第14回	応用課題3
概要		概要	
第15回		第15回	応用課題3
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202211

科目名	プロダクト演習			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	伊達 泰正		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。一級建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する発展科目として位置づけ、前年次修得した基礎表現技術をもとにした、さまざまな課題への自主的な取組みを通じて、プロダクト造形の応用的な能力が修得できる。実習部分については産官学の連携を行ないながら、社会とのつながりを学ぶ。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	40%		○	○	○	○
プレゼンテーション	20%		○	○	○	○
グループワーク	20%		○	○	○	○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	概説・課題説明
概要		概要	
第2回		第2回	課題1　基本プロダクト
概要		概要	スケッチ、グループワーク
第3回		第3回	課題1　基本プロダクト
概要		概要	スケッチ、グループワーク
第4回		第4回	課題1　基本プロダクト
概要		概要	学外実習
第5回		第5回	課題1　基本プロダクト
概要		概要	スケッチ、グループワーク
第6回		第6回	課題2　基本プロダクト
概要		概要	製作
第7回		第7回	課題2　基本プロダクト
概要		概要	製作
第8回		第8回	課題2　基本プロダクト
概要		概要	発表準備
第9回		第9回	課題2　基本プロダクト
概要		概要	発表準備
第10回		第10回	課題2　基本プロダクト
概要		概要	発表、講評会、ディスカッション
第11回		第11回	課題3　応用プロダクト
概要		概要	スケッチ、グループワーク
第12回		第12回	課題3　応用プロダクト
概要		概要	スケッチ、グループワーク
第13回		第13回	課題3　応用プロダクト
概要		概要	学外実習
第14回		第14回	課題3　応用プロダクト
概要		概要	発表準備
第15回		第15回	課題3　応用プロダクト
概要		概要	発表、講評会、ディスカッション

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202315

科目名	福祉住環境			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	4単位	担当教員	田中 嘉代		
				実務経験および関連資格	意匠デザインの経験および福祉住環境コーディネーター2級を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

建築設計及び空間デザインに関する諸学の基本科目として位置づけ、高齢者や障害者をはじめ、すべての人に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーとして、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身につけ、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに適切な住宅改修プランが提示できる。また、福祉用具や諸法制度情報などについても知識と能力を身につけ、適切なアドバイスを行える。

教科書・参考書名	福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○	○		
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	暮らしやすい生活環境をめざして	第1回	高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境
概要	少子高齢社会と共生社会への道	概要	高齢者の生活状況と住環境整備
第2回	暮らしやすい生活環境をめざして	第2回	高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境
概要	福祉住環境整備の重要性・必要性	概要	障害者の生活状況と住環境整備
第3回	暮らしやすい生活環境をめざして	第3回	障害のとらえ方と自立支援のあり方
概要	在宅生活の維持とケアサービス①（介護保険制度）	概要	リハビリテーションと自立支援のあり方
第4回	暮らしやすい生活環境をめざして	第4回	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備
概要	在宅生活の維持とケアサービス②（障害者総合支援法）	概要	脳血管障害、廃用症候群、骨折、認知症
第5回	健康と自立をめざして	第5回	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備
概要	高齢者の健康と自立	概要	関節リウマチ、パーキンソン病、糖尿病、心筋梗塞
第6回	健康と自立をめざして	第6回	障害別にみた福祉住環境整備
概要	障害と自立への方策	概要	肢体不自由、内部障害
第7回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	第7回	障害別にみた福祉住環境整備
概要	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方	概要	視覚障害、聴覚・言語障害、認知・行動障害
第8回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	第8回	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方
概要	生活のなかの問題点と用具の活用（共用品と福祉用具）	概要	相談援助の手法、福祉住環境整備関連職への理解と連携
第9回	安全・安心・快適な住まいの整備	第9回	福祉住環境整備の共通基本技術
概要	住まいの整備のための基本技術	概要	段差の解消、床材の変更、手すりの取り付け
第10回	安全・安心・快適な住まいの整備	第10回	福祉住環境整備の共通基本技術
概要	屋外移動・外出、屋内移動（廊下、階段）	概要	建具・スペースへの配慮、色彩・照明計画、非常時対応
第11回	安全・安心・快適な住まいの整備	第11回	生活行為別福祉住環境整備の手法
概要	排泄・整容・入浴、清掃・洗濯、調理	概要	外出、屋内移動、排泄における福祉住環境整備
第12回	安全・安心・快適な住まいの整備	第12回	生活行為別福祉住環境整備の手法
概要	起居・就寝、妊婦・子どもに対する配慮	概要	入浴、調理と食事、就寝における福祉住環境整備
第13回	安心できる住生活とまちづくり	第13回	在宅生活における福祉用具の活用
概要	ライフスタイルの多様化と住まい	概要	福祉用具の意味と適用、起居・就寝、移動
第14回	安心できる住生活とまちづくり	第14回	在宅生活における福祉用具の活用
概要	人にやさしいまちづくり	概要	排泄、入浴、生活動作補助用具
第15回	安心できる住生活とまちづくり	第15回	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識
概要	地域で取り組む福祉のまちづくり実践事例	概要	住宅改修の事例と実践

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202212

科目名	色彩学Ⅰ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択科目	単位数	2単位	担当教員	田中 嘉代		
				実務経験および関連資格	意匠デザインの経験を有する教員による講義や演習。インテリアコーディネーター、ライフスタイルプランナー上級		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、色彩に関する基礎知識を学び、その学術的な専門知識と手法を修得し、実践的な感性を養う。建築、都市、環境のあらゆる分野において色彩の重要性を認識して、色彩を用いて自由に創造・設計できるようになる。

教科書・参考書名	カラーコーディネーター　検定試験　プリント

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	30%		○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	生活視点からの色彩　色彩の重要性	第1回	
概要	カラーコーディネーター3級検定試験について	概要	
第2回	3級　テキスト用　プリント①	第2回	
概要	色の性質	概要	
第3回	3級　テキスト用　プリント②	第3回	
概要	色の連想と象徴	概要	
第4回	3級　テキスト用　プリント③	第4回	
概要	色の心理的効果	概要	
第5回	3級　テキスト用　プリント④⑤	第5回	
概要	色の表示方法と特徴①②	概要	
第6回	3級　テキスト用　プリント⑥	第6回	
概要	色の表示方法と特徴③	概要	
第7回	3級　テキスト用　プリント⑦⑧	第7回	
概要	配色と色彩調和①②	概要	
第8回	3級　テキスト用　プリント⑨⑩	第8回	
概要	配色と色彩調和③④	概要	
第9回	3級　テキスト用　プリント⑪⑫	第9回	
概要	光から生まれる色　色彩現象と光源	概要	
第10回	3級　テキスト用　プリント	第10回	
概要	絵画による配色㉒	概要	
第11回	3級　テクスト用　プリント	第11回	
概要	日本における色彩㉓	概要	
第12回	配色演習	第12回	
概要	イメージカラーシート作成　課題提出	概要	
第13回	明度を学ぶ	第13回	
概要	光と影で描く　課題提出	概要	
第14回	SD法を学ぶ	第14回	
概要	心理的効果　課題提出	概要	
第15回	パーソナルカラーを学ぶ	第15回	
概要	日常生活に活用できる色彩の魅力	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202213

科目名	色彩学Ⅱ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択科目	単位数	2単位	担当教員	田中 嘉代		
				実務経験および関連資格	意匠デザインの経験を有する教員による講義や演習。インテリアコーディネーター、ライフスタイルプランナー上級		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、色彩に関する基礎知識を学び、その学術的な専門知識と手法を修得し、実践的な感性を養う。建築、都市、環境のあらゆる分野において色彩の重要性を認識して、色彩を用いて自由に創造・設計できるようになる。

教科書・参考書名	カラーコーディネーター　検定試験　2級テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	30%		○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	色彩を応用する
概要		概要	カラーコーディネーター2級検定試験について
第2回		第2回	2級　テキスト　1章
概要		概要	カラーコーディネーションの考慮項目
第3回		第3回	2級　テキスト　2章
概要		概要	色彩の歴史　　近代から現代
第4回		第4回	2級　テキスト　2章
概要		概要	西洋色彩文化史
第5回		第5回	2級　テキスト　2章
概要		概要	日本色彩文化史
第6回		第6回	2級　テキスト　2章
概要		概要	自然界の色彩
第7回		第7回	2級　テキスト　3章
概要		概要	生活視点からの色彩
第8回		第8回	2級　テキスト　5章
概要		概要	カラーコーディネーションと配色
第9回		第9回	2級　テキスト　5章
概要		概要	ファッション色彩と商品色彩
第10回		第10回	2級　テキスト　5章
概要		概要	環境色彩
第11回		第11回	環境色彩について①
概要		概要	街の色彩　常識，非常識
第12回		第12回	環境色彩について②
概要		概要	街のイルミネーション
第13回		第13回	心理的色彩効果
概要		概要	色彩による性格を知る
第14回		第14回	環境色彩について③
概要		概要	卒業制作の外観色
第15回		第15回	環境色彩について④
概要		概要	卒業制作の外観色　　課題提出

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202316

科目名	建設ビジネス学			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	渕上 久子		
				実務経験および関連資格	社員研修、接客接遇、検定対策（秘書/ビジネス/サービス接遇）の指導員による講義。		

授業の目標・ねらい

自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識と技能を習得できる。

教科書・参考書名	ビジネス能力検定 ジョブパス3級公式テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第1回	
概要	キャリアと仕事へのアプローチ	概要	
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第2回	
概要	仕事の基本となる８つの意識	概要	
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第3回	
概要	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	概要	
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第4回	
概要	指示の受け方と報告、連絡・相談	概要	
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第5回	
概要	話し方と聞き方のポイント	概要	
第6回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第6回	
概要	来客応対と訪問の基本マナー	概要	
第7回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第7回	
概要	会社関係でのつき合い	概要	
第8回	仕事の実践とビジネスツール	第8回	
概要	仕事への取り組み方	概要	
第9回	仕事の実践とビジネスツール	第9回	
概要	ビジネス文書の基本（社内文書と社外文書）	概要	
第10回	仕事の実践とビジネスツール	第10回	
概要	電話応対	概要	
第11回	仕事の実践とビジネスツール仕事の実践	第11回	
概要	統計・データの読み方・まとめ方	概要	
第12回	仕事の実践とビジネスツール	第12回	
概要	情報収集とメディアの活用	概要	
第13回	仕事の実践とビジネスツール	第13回	
概要	会社を取り巻く環境と経済の基本	概要	
第14回	職業とキャリア	第14回	
概要	職業適性と自己分析、キャリアデザイン	概要	
第15回	職業とキャリア	第15回	
概要	応募書類（エントリーシート、履歴書）と面接の基本	概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202317

科目名	デザイン論概説			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	眞野 サトル・大澤 亮介		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。一級建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する基本科目として位置づけ、多様な空間デザインの分野のスペシャリストから業界の実情を学び、見学により実物を見て触れて材質・スケール・デザインを学ぶことを通じ、分野の概要と見聞を深めることができる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	30%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	30%					○
その他（ レポート ）	30%	○	○	○	○	
その他（ ）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	空間考概説	第1回	
概要	空間の種類、用途、なぜデザインが必要か？	概要	
第2回	住空間について	第2回	
概要	実例分析	概要	
第3回	住空間について	第3回	
概要	実例分析	概要	
第4回	進路ガイダンス1	第4回	
概要	多様な進路	概要	
第5回	商空間について	第5回	
概要	実例分析	概要	
第6回	商空間について	第6回	
概要	実例分析	概要	
第7回	進路ガイダンス2	第7回	
概要	多様な進路	概要	
第8回	商空間について	第8回	
概要	実例分析	概要	
第9回	オフィスについて	第9回	
概要	実例分析	概要	
第10回	公共とは・都市考	第10回	
概要	エリアリノベーションとソーシャルデザイン	概要	
第11回	博物館・美術館	第11回	
概要	実例分析	概要	
第12回	進路ガイダンス3	第12回	
概要	多様な進路	概要	
第13回	プロダクトとブランディング	第13回	
概要	実例分析	概要	
第14回	グラフィック	第14回	
概要	実例分析	概要	
第15回	前期のまとめ	第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202215

科目名	デザイン論A			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	鍵谷 啓太・阪本 剛史		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。一級建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する発展科目として位置づけ、20世紀以降のデザイン史についての学習及び、多様な空間デザインの分野のスペシャリストから業界の実情を学び、見学により実物を見て触れて材質・スケール・デザインを学ぶことを通じ、分野の概要と見聞を深めることができる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	30%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	30%					○
その他（ レポート ）	30%	○	○	○	○	
その他（ ）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	空間考概説	第1回	
概要	空間の種類、用途、なぜデザインが必要か？	概要	
第2回	住空間について	第2回	
概要	実例分析	概要	
第3回	住空間について	第3回	
概要	実例分析	概要	
第4回	住空間について	第4回	
概要	レクチャー・見学会	概要	
第5回	商空間について	第5回	
概要	実例分析	概要	
第6回	商空間について	第6回	
概要	実例分析	概要	
第7回	商空間について	第7回	
概要	レクチャー・見学会	概要	
第8回	商空間について	第8回	
概要	実例分析	概要	
第9回	オフィスについて	第9回	
概要	実例分析	概要	
第10回	公共とは・都市考	第10回	
概要	エリアリノベーションとソーシャルデザイン	概要	
第11回	博物館・美術館	第11回	
概要	実例分析	概要	
第12回	公共空間について	第12回	
概要	レクチャー・見学会	概要	
第13回	プロダクトとブランディング	第13回	
概要	実例分析	概要	
第14回	グラフィック	第14回	
概要	実例分析	概要	
第15回	前期のまとめ	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202216

科目名	デザイン論A			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	鍵谷 啓太・阪本 剛史		
				実務経験および関連資格	空間デザインおよび監理業務の経験を有する教員による講義や演習。一級建築士		

授業の目標・ねらい

空間デザインに関する発展科目として位置づけ、20世紀以降のデザイン史についての学習及び、多様な空間デザインの分野のスペシャリストから業界の実情を学び、見学により実物を見て触れて材質・スケール・デザインを学ぶことを通じ、分野の概要と見聞を深めることができる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	30%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	30%					○
その他（ レポート ）	30%	○	○	○	○	
その他（ ）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	デザイン考概説
概要		概要	
第2回		第2回	バウハウスとその時代
概要		概要	デザイン運動の背景、実例分析
第3回		第3回	ロシア構成主義とその時代
概要		概要	デザイン運動の背景、実例分析
第4回		第4回	図面考
概要		概要	ドローイングとアンビルトアーキテクチュア
第5回		第5回	政治とデザイン
概要		概要	ポスターのデザインを考える
第6回		第6回	ミース、コルビジュエ、アアルトとモダニズム
概要		概要	ユニバーサルデザインとモデュロール、白について
第7回		第7回	戦争とデザイン、オリンピックとデザイン
概要		概要	シュペーア、テラーニ、田中一光
第8回		第8回	メタボリズム・ポストモダン
概要		概要	岸田日出刀、丹下健三、磯崎新
第9回		第9回	団地考
概要		概要	公団51B型からタワーマンションまで
第10回		第10回	あそびの空間学
概要		概要	仙田満からディズニーランドまで
第11回		第11回	ダイアグラムと模型考
概要		概要	OMA/レム・コールハース
第12回		第12回	都市と郊外
概要		概要	ローマ、ロンドン、東京
第13回		第13回	映画・絵画・ゲーム・文学と空間
概要		概要	
第14回		第14回	建築家なしの建築
概要		概要	
第15回		第15回	まとめ、空間デザイン論
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D1202318

科目名	企業実習Ⅰ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格			

授業の目標・ねらい

企業実習を通して、設計現場・デザイン事務所あるいは施工現場にて技術者が仕事に対して取り組む姿勢を学び、最新の技術・材料・法規などを体験することを通じて、建設業界への知見を広げ、職業意識を深めることが出来る。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	1. 概要	第1回	
概要	(1)社会人とは	概要	
第2回	(2)実習先の概要・沿革	第2回	
概要	(3)仕事の進め方	概要	
第3回	(4)ビジネスマナー	第3回	
概要		概要	
第4回	2. 設計コース	第4回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第5回	(2)設計図書の作成・CAD入力	第5回	
概要	(3)模型製作	概要	
第6回	(4)構造計算・建築積算	第6回	
概要		概要	
第7回	3. デザインコース	第7回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第8回	(2)現地調査補助	第8回	
概要	(3)模型製作	概要	
第9回	(4)デザイン・インテリア設計、制作	第9回	
概要		概要	
第10回	4. 施工管理コース	第10回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第11回	(2)施工図の作成・CAD入力	第11回	
概要	(3)工程管理	概要	
第12回	(4)安全管理	第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: D2202217

科目名	企業実習Ⅱ			対象学科	空間デザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	鍵谷 啓太		
				実務経験および関連資格			

授業の目標・ねらい

就職先を踏まえ、2年生の企業実習を通して設計現場・デザイン事務所あるいは施工現場にて最新の技術・材料・法規などを体験し、将来の仕事の参考にすることができる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	1. 概要	第1回	
概要	(1)実習先の概要・沿革	概要	
第2回	(2)仕事の進め方	第2回	
概要		概要	
第3回	2. 設計コース	第3回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第4回	(2)設計図書の作成・CAD入力	第4回	
概要	(3)模型製作	概要	
第5回	(4)構造計算・建築積算	第5回	
概要		概要	
第6回	3. デザインコース	第6回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第7回	(2)現地調査補助	第7回	
概要	(3)模型製作	概要	
第8回	(4)デザイン・インテリア設計、制作	第8回	
概要		概要	
第9回	4. 施工管理コース	第9回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第10回	(2)施工図の作成・CAD入力	第10回	
概要	(3)工程管理	概要	
第11回	(4)安全管理	第11回	
概要		概要	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校